

# 令和5年度 学校評価 生徒・保護者アンケート結果（6月実施）について

## 1 学校評価について

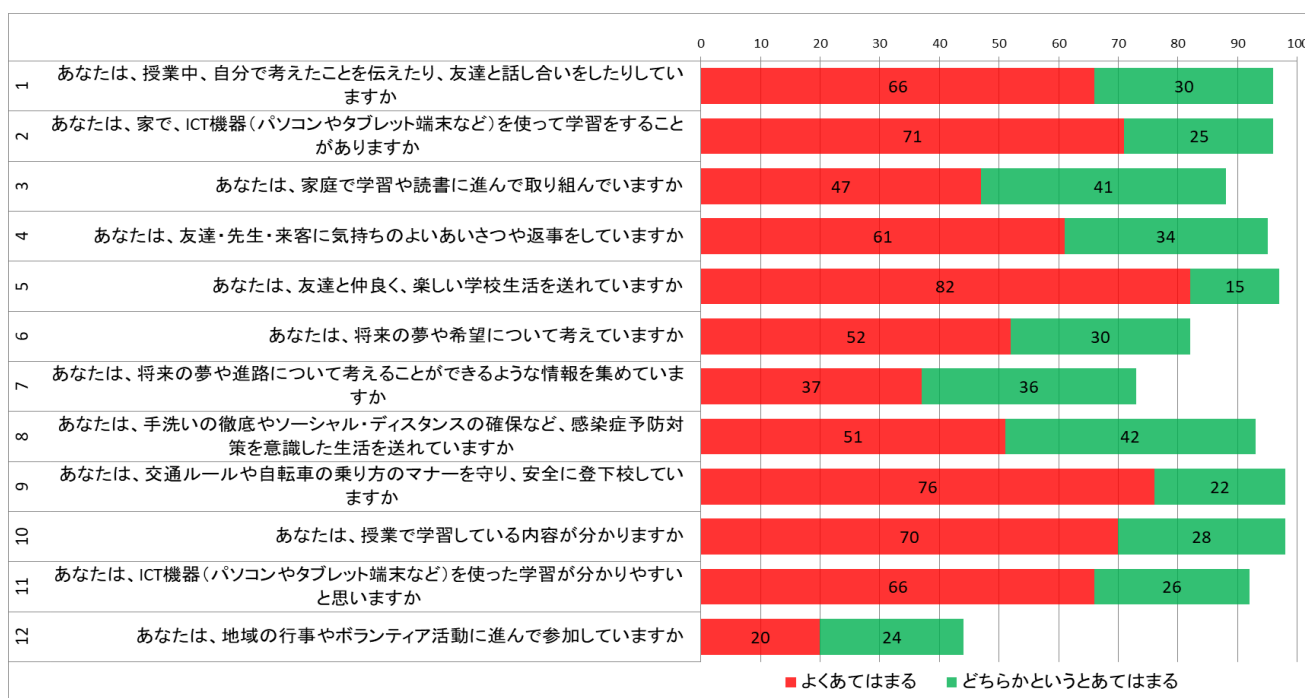
本校では、次のように学校評価を実施しています。

- (1) 生徒・保護者を対象とするアンケート調査を行う。
- (2) アンケート集計結果や自由記述の内容を基に、教職員による自己評価を行う。
- (3) 学校関係者評価や自己評価の分析から明らかになった課題を基に、改善に向けた活動を行う。

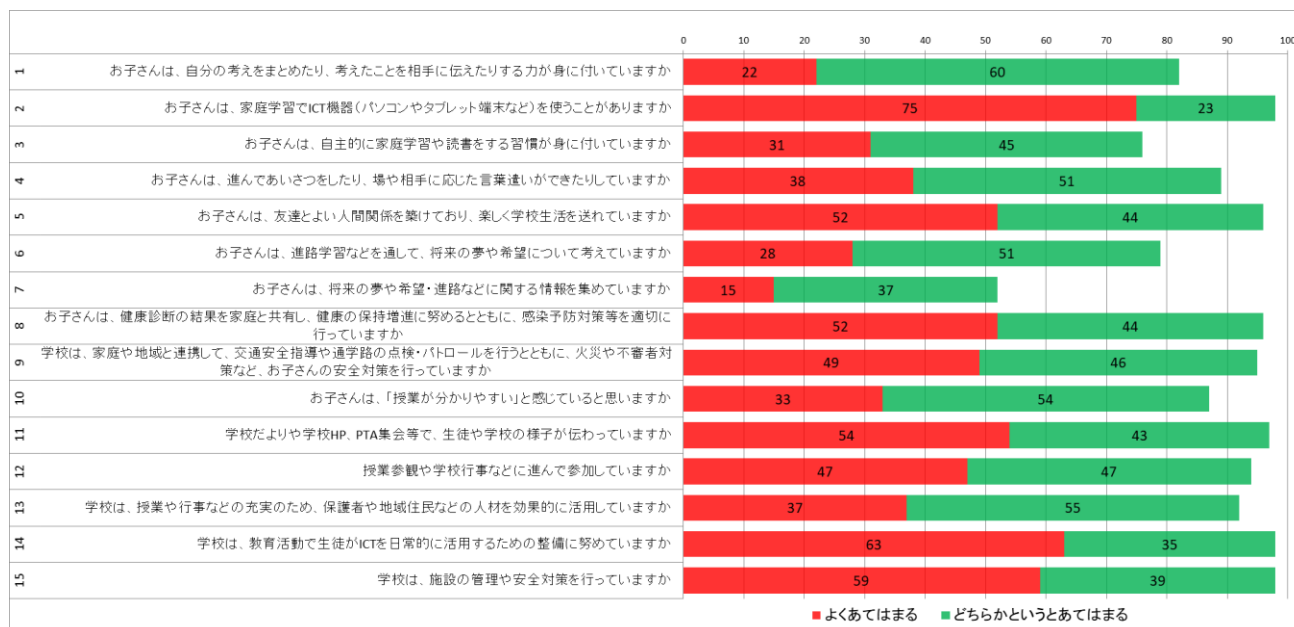
## 2 資料の見方

- (1) 配布したグラフの資料をご覧ください。アンケートの回答の「よくあてはまる」・「どちらかというとはまる」・「どちらかというとはまらない」・「まったくあてはまらない」のうち、「よくあてはまる」・「どちらかというとはまる」の合計の割合をグラフにしました。
- (2) 別紙の資料は、「よくあてはまる」・「どちらかというとはまる」の合計の割合が低かった項目（70%以下）について、＜生徒＞と＜保護者＞に分け、現状や改善に向けての方針、ご協力をお願いなどについてまとめています。

### 令和5年度第1回学校評価アンケート＜生徒＞6月実施



### 令和5年度第1回学校評価アンケート＜保護者＞6月実施



「よくあてはまる」・「どちらかというにあてはまる」の合計の割合が低かった項目(70%以下)について

<生徒> **質問番号12「あなたは、地域の行事やボランティア活動に進んで参加していますか」44%**

本校では、総合的な学習の時間「未来創造科」の中で、未来を生きる本校の生徒が、よりよい社会と幸福な人生を自ら切り拓くことができるよう指導を行っています。

総合的な学習の時間を充実させるには、保護者や地域の人、専門家などの多様な人々の協力、社会教育施設や社会教育団体等の施設・設備など、様々な教育資源を活用することが大切であると言われていています。地域で行われる活動に生徒が参画したり、教室に招いて専門家の話を聞いたりするなどの学習活動を行っていくことで、生徒の学習をより一層深めることができると考えられています。

本校の特徴として、「特定の地域をもたない」学校ということがいえませんが、「様々な地域から生徒が集まる」学校であるということもできます。「未来創造科」において身に付けた知識や技能、考え方などを「様々な地域」で発揮し、貢献する活動を展開することが考えられます。同様に、その地域での学びを学校での授業に生かし、探究を深めていくことができます。このように、地域と学校における学びを相互の場で活用できるよう指導を進めることで、自己の時間や能力を使って地域や社会に貢献し自己有用感や自己肯定感を高め、進んで参加しようとする態度を育成します。また、学校ホームページなどから、「未来創造科」を中心に企画を周知し、保護者の方だけでなく「様々な地域」に暮らす方々に来校していただき、生徒との交流を深めそのつながりから地域を訪れ、愛着を感じられるようにしていきたいと考えています。

「未来創造科」を中心に、様々な地域のよさを生かす学習活動を行うことで、生徒の地域参画に対する意識を高め、地域の行事やボランティア活動に進んで参加する生徒を育みたいと思います。

<保護者> **質問番号7「お子さんは、将来の夢や希望・進路などに関する情報を集めていますか」52%**

キャリア教育・進路学習の充実とは、生徒の社会的・職業的自立に向け必要となる能力や態度を育むために大変重要であると考えています。進路の選択や将来設計は、中学校卒業後の就職や進学について意思決定することがゴールではないため、常に将来設計を描き直したり、目標を段階的に修正したりして、自己実現に向けて努力していくことができるようにすることが大切になります。

本校では、次の考えを大切に、指導を行っています。

1. 目標の設定：夢や希望をもつことは、人生や学校生活における明確な目標を設定するための始まりです。将来の夢や希望をもつことで、自分がどの方向に進みたいのか、どのように生きていきたいのかを明確にして努力する構えを身に付けさせていきます。
2. モチベーションの向上：夢や希望をもつことは、個人のモチベーションを高める効果があります。達成したい目標に向かって取り組むことは難しいこともあるかもしれませんが、夢や希望をもつことで、困難を乗り越えるため、どのように取り組んでいくのかを明らかにさせます。
3. 自己理解の促進：将来の夢や希望について考えることは、自己理解のための手段となります。自分の興味や価値観、能力などを考えることで、自分自身をよりよく理解することができます。これにより、自己成長や自己実現に向けた解決策を考えさせていきます。
4. 選択肢の創出：オンライン企業訪問や職業教室、進路講演会や合格体験講話などを通して多様な職業や進路の情報を手にすることで、生徒は自分に合った選択肢を創り出し、自分の興味や価値観、能力などと照らし合わせ、よりよい生き方や進路を見つけることができるようにします。
5. 計画と準備：将来の夢や希望をかなえるためには、計画を立てる必要があります。情報を手にすることで、必要なステップや手続き、必要な学習や経験を把握し、準備を進めることができます。見通しをもって計画を立て準備し、粘り強く実践していく態度を身に付けさせていきます。

これらに則って、学級活動や未来創造科を中心に自分の生き方を見つめる機会を設けます。

また、生徒や保護者の方から進路についての疑問や悩み・不安を聴き、一人一人に合った適切な支援ができるよう、PTA 集会や三者面談、進路通信等の機会を通して、進路に関する適切な情報を提供していきたいと思えます。ぜひ、分からないことや不安なことなどがありましたら、お気軽に職員にお問い合わせください。